

様式第4のル (第4条、第5条関係)

(表)

移送取扱所構造設備明細書

事業の概要		石油販売業					
配管の設置	地上設置	有・ <input type="checkbox"/> 無	配管の諸元	溶接機材	方 法	アーク溶接	
	地下設置	<input type="checkbox"/> 有・無		器	交流アーク溶接機		
	道路下設置	<input type="checkbox"/> 有・無		料	軟鋼用被覆アーク溶接棒		
	線路下設置	有・ <input type="checkbox"/> 無		伸縮吸収措置の方法		曲がり管	
	河川保全区域内設置	<input type="checkbox"/> 有・無		防食被覆	塗 装 材	塗 装 材 料	アスファルトエナメル
	海上設置	有・ <input type="checkbox"/> 無			覆 装 材	覆 装 材 料	ハッシュンクロス
	海底設置	有・ <input type="checkbox"/> 無		防食被覆の方法		水道用鋼管アスファルト塗覆装方法	
	道路横断設置	<input type="checkbox"/> 有・無		電 気 防 食	対地電位平均値	-1.0V	
	線路下横断設置	有・ <input type="checkbox"/> 無		電位測定端子間隔		0.2 km	
	河川等横断設置	<input type="checkbox"/> 有・無		防食の種類		流電陽極方式	
	専用 ^{ずい} 隧道内設置	有・ <input type="checkbox"/> 無		加熱又は加温設備		有・ <input type="checkbox"/> 無	
	不等沈下等のおそれのある場所への設置	有・ <input type="checkbox"/> 無		漏えい拡散防止措置の方法		さや管	
橋への取付け設置	<input type="checkbox"/> 有・無	運転状態の監視装置		要・ <input type="checkbox"/> 不要 (有無)			
配管の諸元	配管	延 長	2.56 km	保安設備	配管系の警報装置		<input type="checkbox"/> 要・不要 (有無)
		外 径	165 mm		安全制御装置		<input type="checkbox"/> 要・不要 (有無)
		厚 さ	9.5 mm		圧力安全装置		要・ <input type="checkbox"/> 不要 (有無)
		材 料	圧力配管用炭素鋼鋼管		圧力安全装置の材料		_____
		条 数	1 条		漏洩検知装置		<input type="checkbox"/> 要・不要 (有無)
	最大常用圧力	900kpa	漏洩装置		流 量 測 定	秒	
	弁 の 材 料	鋳鋼フランジ形弁			圧 力 測 定 器 設 置 間 隔	km	
	継手	溶接管継手材料	配管用鋼製突合せ溶接式管継手		漏洩検知口設置間隔	50 m	
		フランジ式継手材料	鋼製溶接式管フランジ		緊急遮断弁	<input type="checkbox"/> 要・不要 (有無)	
		絶縁用継手材料	_____		緊急遮断弁設置間隔	1.0 km	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

(裏)

移送取扱所構造設備明細書

保 安 設 備	危険物除去装置		要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要 (有 <input checked="" type="checkbox"/> 無)	ポ ン プ 等 の 構 造	種類・型式	両吸込渦巻ポンプ
	感震装置等		要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要 (有 <input checked="" type="checkbox"/> 無)		全揚程	100m
	感震装置等	感震装置設置間隔	_____ km		吐出量	100 k l/時
		強震計	設置間隔		_____ km	基数
	性能		_____		壁	ブロック造
	通報設備		<input checked="" type="checkbox"/> 要・不要 (有 <input checked="" type="checkbox"/> 無)		床	鉄筋コンクリート造
	警報装置の種類		拡声装置 自動火災報知設備		柱	鉄筋コンクリート造
	化学消防自動車		要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要 (有 <input checked="" type="checkbox"/> 無)		はり	鉄筋コンクリート造
	化学消防自動車等	化学消防台数	_____ 台		屋根	スレート造
			設置場所		_____	窓
		巡回監視車台数	_____ 台		出入口	防火戸
			設置場所		_____	階数
	資機材倉庫設置場所		移送基地内		建築面積	50 m ²
	資機材置場設置間隔		_____ km		延べ面積	50 m ²
	予備動力源の容量		200 kW		ピグ取扱い装置	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
保安用接地		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	消 火 設 備			
標識等	位置標識設置間隔	1000m				
	注意標示設置間隔	200m				
	注意標識設置場所	移送基地及び配管経路				
その他必要な事項						

移送取扱所の構造設備明細書記載事項

- ① 「事業の概要」の欄は、事業の内容について具体的に記入すること。
- ② 「配管の設置」の欄は、当該配管の設置について、その該当項目に○印を付けること。
- ③ 「配管の諸元」の欄は、次により記載すること。
 - ア 「配管」、「弁の材料」、「管継手」の欄は、告示第 5 条により JIS 記号等で記載すること。
 - イ 「溶接」の欄は、告示第 19 条及び第 20 条により JIS 記号等で記載すること。
 - ウ 「伸縮吸収措置の方法」の欄は、告示第 18 条を参考に記載すること。
 - エ 「防食被覆」の欄は、告示第 22 条を参考に記載すること。
 - オ 「電気防食」の欄は、告示第 23 条を参考に記載すること。
 - カ 「加熱又は加温設備」の欄は、その該当の有無に○印を付けること。
 - キ 「漏えい拡散防止措置の方法」の欄は、告示第 39 条により、その方法を記載すること。
- ④ 「保安設備」の欄は、当該事項について、その要・不要及び有無に、○印を付けるとともに、その他該当数値等を記載すること。
- ⑤ 「ポンプ等」の欄は、設置するポンプの型式、能力等を記載するとともに、ポンプ室の構造については、その室の構造、面積等を記載すること。